

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		もくの木		公表日 令和7年3月24日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		療育スペースに必要なものを置くようにしている	今後も継続しておこなっていききたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	職員の人数は足りていないときもある。	指導員などの求人を行っていき、配置数を確保していききたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		視覚化できるものは行っている。	床のマットの不備があったときは取り替えていききたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		掃除など毎日行っている。建築の構造上、柱があつたりしているが、ガードを付けている、	カードが取れたり、破損している箇所は都度張り替えていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		必要に応じて場所の変更を行っている	クールダウンする場所を決める必要はある
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	人数が少ないため、日々の話の中で行っている。	職員が増えた時を想定し週1での会議を行っていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者への事業所評価は行っている。	改善に向け行っていききたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	日々の話の中でどうしたいか、どうしたいのか意見は聞いている	都度行っている。今後も続けたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	行っていない状況	外部評価も行っていききたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		3	確保されていない状況	年次の計画に盛り込んでいききたい
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	2	現時点では公表はできていない	R7、3月中公表予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		送迎時やLINE、電話等でもニーズは確認し、計画に盛り込んでいる。	上半期、下半期の計画をしているが、今後はニーズに合わせて都度変えていききたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		担当職員との話し合いののちに計画を立てている。	今後も継続しておこなっていききたい
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		入社の浅い職員には口頭で話している。	計画にそった支援ができるように会議等での周知をしていききたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	2	フォーマルなアセスメントはしている	インフォーマルも含めて今後の課題とし、来年度上期には確立していききたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		家族支援、地域支援は行っている。移行支援に関しては保育園(園)、幼稚園などの訪問、も行っている。	保育園などの訪問回数を増やしていききたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		話し合いを重ねながら行っている。	今後も話し合いを行いながら、統一した支援を行いたい

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		年間スケジュールを組むことで様々なプログラムを行っている。また、子供たちの様子によって変えたりもしている。	できるだけ経験が積めるように今後も支援プログラムを作っていくたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		支援計画の作成は行っており、職員に周知もしている	新人研修などもいい、統一した支援をしていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	打ち合わせという形ではないが、都度確認している。	チーム連携をとれるようにしていきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	振り返りは行っている。	今後は共有できるように記録として残していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		支援記録は毎日行っている。	検証、改善につながる話し合いをしていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的なモニタリングはいい、見直しもしている。	期間を短くしてモニタリングを行ってきたい。(6か月→3か月)
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		担当職員に参画してもらっている。	担当者会議など機械が少ない状況。事業所主体でできることを模索していきたい、
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		関係者との連携の機会は多くはないが行っている。	今後は連携を強めていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		幼稚園、保育園等の送迎時に情報共有は行っている	今後は個別支援計画の共有を行ってきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		保護者から学校に伝えてもらっている状況	来年度は行ってきたい。保護者の方とは情報共有しているが先生方との共有もしていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		3	地域の発達支援センターとのつながりはない状況。	支援センターとのつながりは持たたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3	併行利用の児童のみの利用となっている現状	同建物内に保育園もあるので一緒に活動できる時間を取りたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		連絡ノート、LINE、電話、口頭などで共通理解を図っている状況。	いつでも連絡くださいと保護者には伝えていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	ペアレント・トレーニングは行ってきたい	ペアレント・トレーニングの研修を職員にうけさせたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		なるべく、丁寧に説明をするようにしています	更に丁寧な説明をしていきたい
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		家族にもこどもにも意向を確認する機会を設けています	何をしたいか、どうなっしてほしいかなどそれぞれに聞いている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		期間は長いが行っている。	今までより期間を短くしたい
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		保護者会や参観日など、話を聞く機会を作っており、相談、助言をおこなっている。	今後も保護者会の回数は増やしていきたい
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	父母の会の活動は行っていないが、保護者会などで交流する機会を設けている。その時にきょうだい同士がいれば交流もしている。	未就学児の支援のためきょうだいを連れての参加は少ないように思われる。きょうだいを集めるような企画も考えたい
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		相談や申し入れは、いつでも対応できるようにしています。契約時に周知しています	今後も相談や申し入れには迅速かつ適切に対応します
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		月1回定期的におたよりを発行しています	今後はSNSでも発信していきたい
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		配慮しています	今後も徹底してきます
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		視覚、聴覚両方の情報ツールを使っている。	今後も子どもに合わせて情報ツールを使っていきます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	地域に向くことはあるが、招待したことはない	今後、招待など機会を設けたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2	マニュアルの策定はしている。家族に周知はしていない。訓練は行っている。	今後家族にも周知していきたい、
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		業務継続計画は策定されており、非難、救出などの訓練も行っている	年次計画に盛り込んでいく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		契約時に確認したり、服薬や予防接種などは保護者からの連絡で把握することで確認が取れている。	てんかん発作などは契約時に確認しているが、予防接種を受けた時、服薬があったときは保護者に情報をもらえるように伝えていきたい
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		食物アレルギーの子供については家族に指示書のコピーの提示をお願いしている。それにより対応している。	急にアレルギーが出た場合にも結果や対応なども家族に聞き取っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	安全計画の作成は行っている。	新年度に向けて年次計画に盛り込んでいく
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		取り組み内容については避難訓練のみ周知している状況。	今後のお便りなどの中で家族への周知を図りたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	2	ヒヤリハットがあったときは事業内で共有し、再発防止に向け検討している。	今後も再発防止に向け検討していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		3	年に何回もしているわけではないので、途中入職者には行っていない状況。	新人研修などで行ってきたい
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2	身体拘束につながる。事例がない状況。	対応児には行っていきたい。	